

## 5-2 教育改革のための情報通信技術活用に伴う知識と戦略的活用の普及

### 5-2-1 教育改革IT戦略大会

本大会は、教育改革推進の基本問題、情報通信技術活用に伴う教育政策、教育効果を高める情報通信技術の活用方法、最新の情報技術及び情報環境などの専門的知識を普及することを目的として継続開催している。本大会の運営・実施は、教育改革IT戦略大会運営委員会（委員長：山崎和海、立正大学）を継続設置して対応した。

#### (1) 開催方針

21年度は、参加者アンケート及び文部科学省での審議の動向を踏まえ、次のような方針で開催プログラムを決定した。

- ① 初日は、教育改革推進の基本問題について認識を共有するため、教育の質保証システムへの取り組み、教員の教育力向上への取り組み、高大連携接続テストおよび、入学前教育などへの取り組みをとりあげた。
- ② 2日目は、教育の基本問題を解決するための具体的テーマによる分科会形式の討議を実施し、ICTを活用した教育政策、初年次教育、教育・学習支援、教育資産の管理・運用などをテーマとした。午後から同会場で併催する「短期大学部門FD/IT戦略会議」に短大関係者が参加しやすいよう、分科会は午前中に教育関係、午後には情報技術や情報環境のテーマを設定した。
- ③ 3日目は従来どおりの公募による教育・支援環境の事例紹介を行う。
- ④ 2日目と3日目の賛助会員企業によるポスターセッションは、大学・企業合同によるICT導入事例について、導入大学から直接感想や意見を聞く機会を設けることで、参加者により有益な情報を提供することにした。

#### (2) 開催結果

以上の方針のもとに、次ページの通り開催プログラムを決定し、9月1日、2日、3日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加は143大学、18短大、賛助会員は12社で、3日間の参加者数は3日目発表者や賛助会員を含めて406名となり、昨年度より約20名少ない結果となった。なお、大会の概要は巻末の資料編【資料11】を参照されたい。

#### (3) 次年度への準備

大会後、運営委員会では参加者アンケートを踏まえて、平成22年度の開催方針について検討を行った。日程および会場は、9月1日から3日の3日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）に決定した。

プログラムは、初日の講演や事例紹介のテーマと2日目の分科会テーマとの関連づけやねらいを明確にし、開催要項にも明示することにした。大会テーマは「大学の社会的責任について考える」などを予定しており、初日は、就業力育成や教育情報の開示に関する講演や事例紹介、2日目は、教育・学習支援の取り組み、基礎能力育成のICT活用教育、学習ポートフォリオ、学士力としての情報教育、クラウドの利用などとりあげることになっている。3日目は、例年通り公募によるICTを活用した教育や支援環境に関する発表を行い、2日目と3日目は大学・企業共同によるICT導入事例をポスターセッション形式で実施する。事例紹介等のVTR、レジュメのオンデマンド配信、開催結果のホームページ掲載を実施し、参加できない関係者に周知できるようにしている。

社団法人 私立大学情報教育協会  
21年度 教育改革IT戦略大会 プログラム

9月1日 (火)		9月2日 (水)		9月3日 (木)	
参加費	加盟校・賛助会員 7,500円 / 非加盟校 11,250円	参加費	加盟校 賛助会員 7,000円 / 非加盟校 10,500円	参加費	加盟校・賛助会員 6,500円 / 非加盟校 9,750円
会場	JF 富士	会場	別紙 (当日配布資料参照)	会場	別紙 (当日配布資料参照)
10:00	会長挨拶	テーマ別自由討議 ※各講師名は別ページをご覧ください		大会発表(83件) 教職員によるICTを活用した教育・支援環境の事例紹介(発表一覧を参照)	
10:05	教育の質保証システムへの取り組み 文部科学省中央教育審議会専門委員(大学分科会) 高祖 敏明氏(学校法人上智学院理事長) 国や関係団体など大学の質保証をめぐる取り組みの概要や教養教育の在り方について紹介する。	●分科会A ICTを活用した教育政策 学生カルテを活用した学生個別指導やクリック技術を活用した双方向授業について紹介いただき、教育改善のためのICTを活用した教育政策を探索する。 <課題提起> ・学生カルテ「はぐぐみ」による個別指導 札幌学院大学 ・クリック技術による双方向授業 東北大学	●分科会B 初年次教育と専門教育との連携 大学の教育理念・教育目標と連動した体系的な初年次教育や専門教育との連携について紹介いただき、初年次教育の在り方を探索する。 <課題提起> ・初年次教育を基本とした学士課程教育の構築 玉川大学 ・専門教育との連携による初年次教育 長崎大学	●分科会C 教職協同による教育・学習支援 大学間連携による教養教育や、学内情報を活用した教育学習支援システムについて紹介いただき、教職協同による教育・学習支援の在り方を探索する。 <課題提起> ・大学間連携による教養教育 桜美林大学、首都圏西部大学単位互換協定会 ・ICT活用による能動的な学習支援の推進 名古屋学院大学	10:00 A-1 B-1 C-1 D-1 E-1 10:20 A-2 B-2 C-2 D-2 E-2 10:40 A-3 B-3 C-3 D-3 E-3 11:00 休憩(10分) 11:10 A-4 B-4 C-4 D-4 E-4 11:30 A-5 B-5 C-5 D-5 E-5 11:50 大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介の概要(20分)
11:15	教員の教育力向上への取り組み 加藤 かおり氏 (新潟大学大学教育開発研究センター准教授) 教員の教育力向上の取り組みの必要性や、日本としてどう対応すべきかなど、欧州の事例を踏まえ教員の意識改革について提案する。	12:30 休憩(60分)	12:30 大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介の概要(15分)	12:10 休憩(80分)	大学・企業連携によるICT導入・活用事例紹介 (ポスターセッション) ※2会場で実施
12:30	13:30 高大連携接続テストの動向 ~「選抜」から「相互選択へ」~ 佐々木隆生氏 (北海道大学公共政策大学院 特任教授) 高大連携に関する動きとして、高大連携接続テストの背景、現状、今後の予定について紹介する。	12:45 休憩(75分)	14:00 ●分科会D 教育資産の管理・運用 情報管理の重要性と点検評価について当協会よりまとめを報告するとともに、外部データ管理センター活用に関するメリットやデメリットを大学から紹介いただき、情報環境・管理政策の今後の在り方を探索する。 <課題提起> ・情報セキュリティへの取り組み 私情協・情報システム研究委員会 ・外部データセンター活用のメリット/デメリット 早稲田大学、共立女子大学	13:30 A-6 B-6 C-6 D-6 E-6 13:50 A-7 B-7 C-7 D-7 E-7 14:10 A-8 B-8 C-8 D-8 E-8 14:30 休憩(10分) 14:40 A-9 B-9 C-9 D-9 E-9 15:00 A-10 B-10 C-10 D-10 E-10 15:20 A-11 B-11 C-11 D-11 E-11 15:40 休憩(10分) 15:50 A-12 B-12 C-12 D-12 E-12 16:10 A-13 発表中止 C-13 D-13 E-13 16:30 A-14 B-14 発表中止 D-14 E-14 16:50 休憩(10分) 17:00 A-15 B-15 C-15 D-15 E-15 17:20 A-16 B-16 C-16 D-16 E-16 17:40 A-17 B-17 C-17 D-17 E-17	
14:30	14:40 大学全入時代の高大接続の基本的考え方 長谷川 信氏(青山学院大学副学長) 初年次教育や高大連携の取り組み事例を交えながら、大学全入時代における高大接続について、大学の対応策を提案する。	16:30 休憩(15分)	16:45 情報交流会 (会場: 6F伊吹)	17:00 終了	
15:50	17:00 終了	18:00 終了	18:00 終了	18:00 終了	